



# 会報



DISTRICT 353  
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

## 鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA

う め

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや  
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
電話 0235 (2) 5775

会 長 鈴木 善 作  
幹 事 高 橋 辰 美

### Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 796 号 1975. 3. 18 (火) (曇) No.36

会報はご家族みんなで読みましょう

#### ◆出席報告

##### 本日の出席

会 員 数	66名
出 席 数	50名
出 席 率	75.76%

##### 前回の出席

前回出席率	71.21%
修正出席数	59名
確定出席率	89.39%

#### 欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、半田君、板垣君、  
風間君、三浦君、森田君、小野寺君、斎  
藤(信)君、佐藤(伊)君、佐藤(昇)君、佐  
藤(友)君、佐々木君、笹原君、富樫君、  
吉野君

#### メークアップ

阿部(襄)君、佐藤(衛)君、新穂君、菅原  
君一台中 RC  
石黒君、五十嵐(伊)君、嶺岸君、中江君  
中野(清)君、進藤君、鈴木(弥)君、高橋  
(良)君一鶴岡西 RC

#### ◆ビジター

大谷博司君一山形 RC  
堀博君一新潟東 RC  
工藤武樹君一鶴岡西 RC

◆点 鐘 12.30 鈴木会長

◆ロータリーソング 手に手つないで

◆本日のビジター紹介 S.A.A

◆会長報告 会長

◆新入会員紹介 会長

◆新入会員挨拶

◆幹事報告

#### ◆退会者挨拶

◆退会者記念品贈呈

◆台中港姉妹クラブ盟約式報告 阿部襄君

◆会員スピーチ 石黒慶之助君

(最近の歯科診療について)

#### ◆会長報告

1. 鶴岡 RC と台中港区 RC の姉妹クラブ盟約式が、去る 8 日午後 5 時から台中県語棲鎮の新天地ホテルで何長景会長と阿部襄先生。鶴岡クラブ代表が盟約書に署名捺印終りまして無事 9 名の会員が御帰りになりま

した。本当に御苦労様でした。クラブを代表して厚く厚く御礼申し上げます。

2. 現幹事の高橋辰己君が本日の例会を最後に当クラブより退会されることとなります。本年度開始以前より色々と御尽力御支援を賜わり本当に助かりました。この席より厚く御礼申し上げます。

尚、あと4月、5月、6月の3ヶ月は前幹事の小松広穂君より御助け下さる様御承諾得ましたので御苦労なこと充分存じて居りますが何卒御援助下さる様伏して御願い申し上げます。

尚、高橋君は仙台に御栄転の由、鶴岡とも近いので是非御来鶴の際は御立ち寄り下さる様御体に御留意益々御発展の程ど皆様に変り御願い致します。

山本隆男君(明治生命)も退会されます。

#### ◆スマイル 3月18日

1. 三井賢治君 三女大学に入学
2. 藪田誠樹君 長男県立鶴岡南高入学
3. 山本隆男君 長男県立鶴岡南高入学
4. ヤマリン大西町店竣功

家主 ヤマリン社長 手塚林治君  
設計 新穂設計事務所々長

新穂光一郎君  
空調工事 荘内三菱社長 早坂源四郎君  
建築主体工事

温海佐藤組 佐藤 衛君

5. 進藤誠一君  
立派なヒゲをたてられました。少しあつかましいようですが当クラブでははじめてのようですマイル御願います。

6. 阿部 襄君  
台中港区ロータリークラブとの姉妹クラブ盟約式の団長として帰国挨拶
7. 山本隆男君 函館支局へ転勤
8. 五十嵐伊市郎君 葬儀お礼

#### ◆職業奉仕のスピーチ

##### 最近悪評を受けている 歯科診療について考える

会員 歯科医師 石黒慶之助君

一昨年からの狂乱物価により、大衆は生活防衛のため、石油の問題から、トイレットペーパー、砂糖、食糧、衣類、土地、家屋或は自動車の排気ガスの問題、更にはお風呂代、地方公務員の給料に至るまで異常な関心を持って、攻撃的大衆運動を起して居ります。

特に最近では歯科医療に対して風当たりが非常に強くなりました。大都会の一握りの特殊診療歯科医についての批判から、最近では全国すべての歯科医が悪徳者であるかのような風調さえかもし出されて参りました。そして厚生省までが世論におされ“歯の110番”と称する苦情処理機関を全国に5,000ヶ所設置することになったようです。110番といえば泥棒、強盗への御用の電話であります。歯科医もついに泥棒や強盗と同列になったかと思われるようで非常に悲しんで居ります。今朝のニュースでは銀行への苦情にまで“110番”が拡大されています。

更に、私は真の医療は医師と患者との信頼感の上に成立するものと考えて居りますがこのような雰囲気になりますと、患者は「この先生は大丈夫かな、だまされないように…」などと初めから不信感不安感を持っておっかなびっくり受診するようになったり、また歯科医は「この患者はどんなことを言い出すかなあ、歯の110番へ投書するのではないか」等と警戒心を持って診療するようになっては相互不信も甚だしい状況で、他人の体を削ったり、切ったりする医療は成り立ちません。吾々は過去において経験したことのない医療の危機を痛感しています。

吾々歯科医師は勿論歯科技工士、衛生士、助手など医療担当者は、日夜患者の立場にたつて最良の処置は如何にすべきかを考え、善意と真心を持って診療に努力しているつもりでいましたが、このような不明朗な世論の波の中に飲み込まれてしまいそうになり、何か報われない悲しい気持ちになっています。

私は最近の歯科に関する新聞記事を、極力スクラップブックに集め、自分なりにこれを検討して見ました。それをもとに、先づ、悪評の要点は何か？何が批判のまとなっているかを歯科医師の立場から考えてみたいと思います。

##### (A) 歯科医へ行ってもすぐ見てもらえない

歯科医師は“法”によって受診を断ることが出来ないし、また患者を選択することも禁じられています。何んとしても患者さんは診て上げねばなりません。職業上から見れば患者さんは神様であらねばならない筈であります。ではどうして“診療拒否”と誤解される現象が起るか？

イ・歯科疾患の多発と受診希望者の激増

○ 衛生思想の普及

○ 健保法、福祉施策の充実により医療はタダにすべしの傾向による

□ 歯科医師とその介補者の絶対的不足

ハ 歯学の進歩により、より良い仕事のため診療に長時間を要することが多くなったこの歯科医も非常に多忙です。稼働時間をこれ以上延長することは従業員の勤務関係からしても不可能です。私も年と共に体力もおとろえこれ以上の重労働は無理のようです。

然らば、どうすれば苦痛に悩む患者、生命の危険にさらされた急患を救うことが出来るか？それは先づ新患を診て上げることです。急がぬ疾患の方は相当先まで待って頂かし、急患は先づ苦痛や危険をくい止める処置を行い本格的な診療は先きに延ばして救急処置だけは何んとしてもやって上げねばならない筈です。

(B) 歯科医は保険診療では良く見てくれない

イ 歯科における健康保険診療は制約を受けて居りすべての診療が出来るに限らない。

歯科診療には次の3つがある。

a 保険で出来るもの……

疾病の治療、標準的な補綴

b 差額徴収となるもの……

貴金属、特殊材料を使う場合

c 保険の対象とならないもの……

予防歯科、美容的整形、健康診断、歯列矯正、小児の補綴など

□ 保険診療料金は、前時代的統制価格であり不合理である

a 材料基準と現実価格との格差

b 外注技工料と保険点数のアンバランス

c 技術能力差の評価が殆ど行われていない

d 予防とか指導については報酬が求められない—保険医を辞退する歯科医も増加

ハ イギリスやソビエトでは補綴は保険外、将来吾が国でも保険経済の面から補綴の給付は無理になるのではないか。

要するに保険診療は疾病対象であるから贅沢を云わねば健康保持までの処置は出来るのであります。健保制度について合理的な採算の合う抜本的改正を切望しています。

(C) 自由診療では診療料金が高すぎる

たしかに私共から見ても関西、近畿或は大都市の料金は随分高くいただいているものだ

と驚くものがあります。新聞紙上で発表された異常な高料金は、鶴岡の歯科医ではまるで夢のようです。しかしながら吾々歯科医はドングリのようにならんでいるのではありません。学歴、研究歴による技術、能力の差或は経営上の経費の多い少ないなどの差がありますので診療料金に高低があるのが当然かと考えますが歯科医師としての良識とかモラルとかに問題があるようです。唯、新聞で称する“悪徳歯科医”とされて俎上に上げられた歯科医が果して“悪徳”であるのかどうかを冷静に考えてほしいと思います。

歯科界も最近専門医が求められています。その専門医が“自由診療料金に上限をもうけよ”は不当今より30年前には、下手な歯科医は安くしてもハヤラズ夜逃げしたりつぶれたりしたものです。「ヤブ医竹庵」とか「門前ジャクラ」の言葉があります。1人の患者に長時間をかけ、完全な検査を行い、精密な技術、高級な材料を用いた作った入れ歯と私共町医者で作ったものとは差があってもよい筈です。

或る専門医は1日、3人～4人の患者しか診られないとも云っています。医療の社会性から見れば多くの患者を安い診療費で均等的技術で診療すればよいのですが、歯科医も科学者の端くれです。学術の進歩を吸収しより良い仕事への意欲を持っています。良い仕事には必ず時間と経費がかかるわけです。

このような緊迫した事態になった原因は何か？また、ロータリアンの歯科医としてその対策を四つのテストに照らし合せて考えてみました。

原因として医事評論家の水野肇氏は次の4項をあげている。私は更にもう一項を追加したい。

1. 「脱保険」を指導する歯科医師会……

保険医療の改善見通し立たず緊急避難的指導

2. あいまいな健保のメカニズム……

政府の怠慢

3. 歯科医のモラル……

仁術→算術、悪徳者

4. 多い患者に少ない歯科医

5. マスコミの宣伝による患者の不信感

6. 歯科医師会の内紛

1.と2.は医政の問題であり、個人開業医としてはどうにもならないので大部分を棚上げし主として3.4.5.の問題についてまた患者さん側の苦情等を四つのテストにてらして意見をのべさせていただきます。

### ① 真実かどうか

- 真実の歯科医療は現行保険制度で実施出来るか。歯科医の良識とかモラルに頼る外ない
- 高額の自由診療費は真実にそれに値する施術であろうか、逆に高額診療を求める歯科医は、真実に悪徳なのか？
- 歯科医は患者に果して真実な説明と良心的な施術を行っているのか？
- 歯科診療を保険診療のみに統制することは、歯科学の進歩を停止させ、高度医療の普及をさまたげるものと考ええる。
- 歯科診療における真実とは何か？良い仕事をすれば患者数の制限と自由診療とせねばならないし、受診希望者のすべてに良い顔をするには粗診乱療になってしまいます。

### ② みんなに公平か

- 激増する患者の取り扱いについて、みんなに公平にするには……受診拒否、患者選択につながらぬように配慮する。
- 保険診療患者に対し、明らかに出血する診療部門、乃至は殆ど利潤の無い診療部門をどのように理解してもらえるか？
- 患者のためになる良い仕事なら欠損をしてもやらねばならないのか？
- 官公立病院では受診制限がゆるされ、開業医では許されない。官公立病院は高点数でも赤字は認められるが、開業医は低点数でも黒字にせねば生きて行けない矛盾はどう解するか。
- 現在、歯科診療において“公平”とは何か？私もその判断に迷っています。

### ③ 好意と友情を深めるか

- 医療は患者と医師との相互信頼なくして成立しない。“歯の110番”は問題の解決にはならないと考える。
- 金銭問題ならば高い診療費を求める歯科医にはかからねばよい。保険を拒否する歯科医にはかからねばよい。……患者は医師を自由に選択出来る。
- 診療費の高い安いよりも患者さんが満足出来る結果になったかどうかの問題の方が重要である。
- 歯科医は患者に“よかった、有難かった”と言われる診療を行うべきである。

### ④ みんなのためになるかどうか

- 歯科診療の最も効果的な受診方法を推奨したい。
  - (1) 定期検診……2歳児検診、3歳児、幼稚園、入学時
  - (2) 早期診療……治療はC<sub>1</sub> C<sub>2</sub>のうち
- 診療能力を超える多数の受診希望者を全部一時に診ることは不可能なので、私は

計画診療制のもとより良い仕事のために時間予約制を行っている。

- 医学の進歩を臨床に取り入れるための研修会、学会への参加と同時に毎週半日従業員の研究会を開いてより良い歯科医療を心がけている。みんなのためになることが歯科医療本来の姿であらねばなりません。

以上、現下の歯科診療への批判について歯科医師としての解説を試みましたが、要は**歯科医師の良識**即ち奉仕の理想の活用と**患者の信頼感**即ち歯科医療への正しい理解によって解決されるものと考えます。

私は歯科医業が110番呼ばわりされる理由は何もないと信じてますが、天職たる歯科医療の汚名ばんかひのためロータリーの綱領にある

- 歯科医業の道德水準を高めること。
- 歯科医業は有用で尊敬されること。
- 歯科医業を通じて社会に奉仕することにより品位あらしめること。

にむかって献身の努力を尽すつもりであります。皆様には世論にまどわされることなく身近かな歯科医療の実体について或は真実の歯科診療へのご理解、冷静なご批判をお願い致します。

~~~~~  
鶴岡ロータリークラブ

会 員 御 一 同 様

余寒未だ酷しい今日此頃です。皆様には益々お元気で活躍のこととおよろこび申し上げます。

さて私 このたび福島支店勤務を命ぜられ、過日着任いたしました。

鶴岡支店在任中は、皆々様の公私にわたる格別のご指導とご交誼にまどわされ、しかも、人と人とのふれあひのありがたさと得がたい数々の教訓をお教恵いただき本当に有難うございました。

温たかい人情と美しい自然に恵まれた4年間を懐かしく想い返している次第です。

今後とも、こころあらたにして、なお一層職務に精進いたしたいとおもいますのでよろしくご指導の程お願い申し上げます。

まずは右ご挨拶がたお礼まで

昭和50年3月

福島市東浜町15—25

田 中 晶 英

勤務先 株式会社殖産相互銀行福島支店  
福島市本町5—4

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいませ様重ねてお願い致します。御協力下さい。